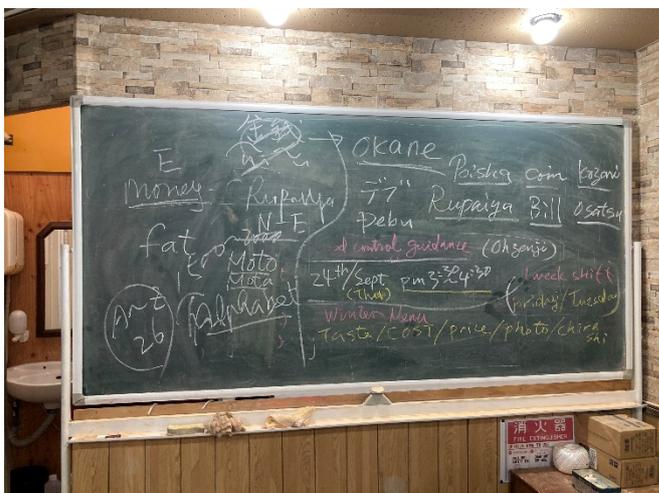


2020/9/19-2

(うとQ世話し 新授業法実践 当店流ニューノーマル語の誕生) 書庫版



一昨日考えた新授業方針と直前に書いた記事「幾ばくかの救い」の内容に従って、本日は早速それを教室で実践してみました。

まず、外国人従業員のひとりを黒板の前に立たせて先生にしました。

当人は、思いもよらぬ事態に（昨日説明したにも拘らず、本当に翌日からやるとは思ってもみなかったようです）

「ええっ!?ワタシ、ナニスル???ワカラナイナ!!」

と大慌て。

「お前ら、先生、うるさい、うるさい、言うが、ここにスタンド（立つ）するのが大変なの、分かったに、あん？」

そういつて無理やり押し切って従業員を立たせたまま、今度は自分が椅子に座って

「今日はワシが生徒や。質問するで!!ええか？」

「ナニ、ナニ、ナニ、ナンヤネン？」

「ティーチャー（teacher）教えて、ネパール語でお金（金銭）ってなんていうのや？」

「オカネ？」

「英語の money のこっちゃ」

「オカネは、ポイシャ（と訳の分からないネパール文字で書きました）」

「じゃあ、税金は？英語の Tax のことや」

「カル（同じく訳の分からないネパール文字で書きました）」

「さよか」

で、そこまで来て今度は自分が

「英語で money。日本語でお金、金銭。ネパール語で poisha(実際にはネパール文字板書)。

税金は英語で tax。日本語で zeikin。ネパール語で kal(bill,vat) (同様板書)

どや、これやと英語アルファベット文字26、ネパール文字36、日本語のひらがな、カタ

カナ、当用漢字含めて2000文字位。タイヘンやし？特に日本語の漢字。

せやけど、これを全部アルファベット26文字で書いたらどうなる？

Tax, zeikin, kal(bill, vat)

アルファベット26文字だけで3か国語全部書けるやし？あん？

ワシが三つのうちどれか書いて、お前がそのうちどれか分かれば話簡単に通じるやし？それにこうやればお互いに3か国語いっぺんにおぼえられるし。

しやから今日からは、ワシは日本語、全部アルファベット26文字で書くで。

漢字は全く使わんから安心しいや。みんなもネパール語、パキスタン語、アルファベットで書きや」

当人以外、他のスタッフからも一種のどよめきのようなものがあがりました。

ここに「当店流ニューノーマル語」が出来上がりましたが、逆に言うと、彼らはそれ程、日本語、特に漢字に苦しめられていたという事なのだろうと理解致しました。

追記)

スタッフから最後に注釈。

Poisha は coin, kozeni のことで、osatsu, bills は rupaiya だそうです。ご参考迄。